

東大阪政心会

なる中で行われた。しかし、

でも結果として多くのお店がにぎわっていた。私は今回のふれあい祭りを見て、一つのモデルケースになる

と考える。ごみが出ないし、食品ロスもなくなり、既存のお店も大繁盛するという結果をもたらした今回の取

組は、環境問題の視点から見たら新しいチャンスであったと思う。市は今回の取組を地球温暖化防止対策と

してどう評価したのか。環境部長 ふれあい祭りにおける地球温暖化防止対策に対する評価については、

ごみの排出量が減少したと聞いており、二酸化炭素の排出量の削減につながったと考えている。

新社会党

個人質問 松平 要

就学援助制度の本旨を理解し、血の通った市民への対応を求める！

給食一時停止の諸課題

について

問 行政の責めにより給食を提供できなかったため、その分の給食費を公費でまかなうというのは当然のことであるが、就学援助者はそのもそも給食費の負担を免除されており、今回の事態で弁当の費用負担が生じているにもかかわらず、何ら手当てもされていない。就学援助の本旨が理解されていないと思えない。2月末頃を期限として業者の実効性を精査していればもう少し迅速に対応できたい。4月上旬、給食提供1週間前の契約解除までそのことが把握できていなかったことが事務管理能力上の大きな課題として残っているが、教育委員会の見解を問う。

水道広域化と管の老朽対応について

問 府下各市において水道管の老朽化が進んでおり、残耐用年数のバラツキをどこで調整するかが今後の課題である。この課題に対する方向性の明示は、来年の3月議会における議決の際の重要な判断基準となると考えており、その間の議会において進捗状況を伺っていく。国が広域化を促進する、まさに中心課題が管の老朽化に対応するためのスケールメリット作りであることを考えると、この課題の方向性を示されることは統合の成否に関わる最重要ポイントと考えるが今後の方向性の検討について伺う。

水道総務部長 格差解消のための方向性については、来年3月の統合に関する議案の提案に向け、精力的に検討を行ってまいります。

照隅の会

個人質問 中西 進泰

アルコール等の依存症対策を推進せよ！日新高校を市民の財産として存続させるために思い切った改革を！

アルコールなどの依存症対策について

問 アルコール・ギャンブル・薬物等依存症は、それぞれが健康障害の要因になるだけでなく、虐待、家庭内暴力、自殺、借金、多重債務、失業、犯罪などの引き金になり、本人だけの問題にとどまることなく、家族への影響や重大な社会問題を生ずる危険性が高く、その対策を講じることの社会的効用は大きいと言える。先日、東大阪断酒会の50周年記念大会が行われ、式典の中で市長は、これまでの地道な取組を評価するとともに、今後一層アルコールはじめ、ギャンブル、薬物等依存症の取組を推進することを約束されたが、改めて思いを問う。

市長 これまでの成果を生かして、新たな依存症に対する連携の仕組みが構築できよう、支援していく。

問 アルコール・ギャンブル・薬物等依存症は、それぞれが健康障害の要因になるだけでなく、虐待、家庭内暴力、自殺、借金、多重債務、失業、犯罪などの引き金になり、本人だけの問題にとどまることなく、家族への影響や重大な社会問題を生ずる危険性が高く、その対策を講じることの社会的効用は大きいと言える。先日、東大阪断酒会の50周年記念大会が行われ、式典の中で市長は、これまでの地道な取組を評価するとともに、今後一層アルコールはじめ、ギャンブル、薬物等依存症の取組を推進することを約束されたが、改めて思いを問う。

教育次長 教育委員会としても改修の必要性は認識しており、東大阪市学校施設長寿命化計画実施計画において、令和5年度に改修を予定している。改修する場所、内容等学校と調整し、必要な予算を関係部局と調整する。

東大阪翔の会

個人質問 野田 彰子

今後の子育て支援をどう考えているのか!? 東大阪市の気概を問う！

子育て支援について

問 国難でもある少子化について、子どもにかかる予算を倍増したら出生率は必ず上がり、経済も必ず上がる。これは明石市において実証されており、明石市は人口が9年連続増加、出生率全国一となっている。支援にお金を使っても、人口が増えれば結果的には税収も増えており、明石市の財政は健全化を保っている。同じ中核市として東大阪も出来ないはずがなく、今後発想の転換をして全ての子どもための理念で一丸となって取り組むべきだが、市としての今後の子育て支援への気概を問う。

民族学級のあり方について

問 12月議会でも民族学級について質問したが、明確な答弁がなく、その後の委員会でも同様であり、大阪府の答弁からの齟齬の説明もなく新学期を迎えている。人として大切な名前を、本人や保護者がやめてほしいと訴えているにも関わらず本名ではない名前と呼んでいることなど数点の指摘をしたが、改善したのか。

教育次長 現在民俗学級の目的を全体で再確認しており、常勤講師についても府と市で協議を行い、本市の実態に応じて配置している。また、民族学級を新たに国際教室とし、参加対象を希望する全ての子どもとしている。入級には目的や活動内容について丁寧に説明し、入級の確認を行うなど、本人や保護者の意向を尊重することを徹底している。